

えいよう

通信

2023.12 第162号



復活！えいよう通信！！(≧▽≦)

しばらくお休みしておりました、えいよう通信ですが、今月より再開させていただきます。
(勝手気ままな編集と発行で本当に申し訳御座いません)(T T T)♪♪♪
季節はあっという間に過ぎましたが、異常な秋に続いて12月に入りやっと冬？らしく寒くなって参りました。
誰もが地球温暖化を実感した…。と言っても過言ではないはずです。
この地球からの無言のメッセージに対して、私たちが出来ることを日常生活に取り入れていきましょう。
未来の美しい地球のために。

【2024年診療報酬トリプル改定】

さて来年は医療、介護、障害福祉サービスのトリプル診療報酬改定の年です。
改定の翌年は2025年『地域医療構想』の最終年であり、この報酬改定ではこの地域医療構想を踏まえた内容が色濃く盛り込まれることが予測されていますね。
ポイントとしては、医療機関間、医療と介護の情報連携、そしてそれを効率的に進めるための『医療DXの推進』です。また、医師の働き方改革に即し、業務の効率化とタスクシフトも重要という事で、当院においてもこの改定を視野に入れた準備の一環として来年2月に稼働予定で電子カルテの導入に至りました。
各部門において今まさにその準備に追われている状況ですね。
電子カルテの導入によって、様々な書類のペーパーレスが可能となり地球に優しいSDGsです。
一方、狭い事務所ではPC増設によって機械熱による体感温度の上昇は否めません。
特にノートパソコンの冷却対応は必要になると思われます。
新しいシステムの導入には、様々な準備などの苦労はつきものですよ。(≧▽≦)
稼働してからもう一難ある事も念頭に入れつつ、それを乗り越えたその先を目指していきましょう。
取りまとめて下さっている方々、本当にありがとうございます。

実はこの数か月間、思う事があり『組織心理学』について様々な著書を読みました。
何だか難しそうと思うかもしれませんが、職場の『心理的安全性』のつくり方に注目してみた訳です。
心理的安全性とは、組織や集団、チームの中で、誰もが安心して発言、行動することが出来る職場環境である事を指しています。この心理的安全性は1999年、米・ハーバード大学のエイミー・エドモンドソン教授が提唱しました。世界中の企業がこの心理的安全性に注目したきっかけは、Google社が2012～2015年の4年の歳月を費やし行った研究『プロジェクトアリストテレス』の発表でした。
このプロジェクトの目的は、多角的な分析により生産性を向上させる働き方を明らかにすることでした。
結果、その組織やチームの心理的安全性が高まると、



集中力がアップしパフォーマンスが向上する：個人の強みが発揮される
情報交換が増え、チームの知識量も増える：アイデアが多く集まる
報告：共有がスムーズになる：率直なフィードバックが行える
ストレスは軽減しやりがいアップする
一人ひとりの責任感や関心度がアップする
集団的思考に陥るのを防げる：不安が解消する
チームおよび個人のビジョンが明確化する
多様な価値観からイノベーションが生まれやすくなる

いかがでしょう。ご興味のある方は『心理的安全性のつくり方』石井遼介著 など参考になさってください。
1年間、ありがとうございました。また来年もえいよう通信を宜しくお願い致します。

小林